

赤松化成工業

寿化成工業をグループ化

東西拠点稼働でシナジー発揮

赤松化成工業（徳島県松茂町、☎088・699・3733）は、顧客満足を徹底追求し、品質、納期など需要家サービスの向上に余念なく取り組んでいる。今年7月にグループ傘下となった「寿化

成工業」（栃木県鹿沼市）も着実に稼働率を上げている。徳島と栃木の東西2カ所にグループ生産拠点の稼働となり、今後ますます企業の信頼性を高めるものと期待されている。

赤松化成工業は食品包装資材メーカーとして、PP・PS素材のシーティングから真空・圧空成形加工品、グラビア印刷製品などの製造販売、各種包装資材の販売を手掛けている。容器成形から軟包材の加工まで社内です

「タルに加工が行えることを強みに、容器製品の高性能化要求にも積極的に対応。『総合の品質に卓越していること』を目指し企業活動を推進している。

寿化成工業は、真空・圧空成形による成形品の製造販売を手掛けており、1972年の会社設立から来年で50周年の節を刻む。H A C C P 対応と異物混入

リスク低減推進のため「ちりひとつない工場」を2020年度より全社目標に掲げ事業推進に取り組んでいる。とりわけ12年からメディアカル分野のキット部材のアクセシブルを行う

「メディアカル・アクセシブル事業」に参入し、独自の「マイクромシン目」加工技術などを保有している。稼働設備は、真空圧空成形機が8ラインで、

穴あけ、ミシン目加工などが行える中間パンチャーが6ラインあり、全て順調に稼働している。

赤松化成工業は、「今後は東西の製造拠点をベースとした、より一層のサービス提供を目指していく」としており、BCP（事業継続計画）対応とグループシナジーを存分に発揮していく考え。